

実践英語

責任者・コーディネーター	外国語学科英語分野 柳谷 千枝子 講師		
担当講座・学科(分野)	外国語学科英語分野		
対象学年	1		
期間	前期	区分・時間数	講義 21 時間
単位数	1 単位		

・学習方針（講義概要等）

本科目では、実社会で必要とされる総合的な英語運用能力の養成とともに、様々なシーンにおけるコミュニケーション能力の育成・向上を目指す。講義では主に、グローバル社会で医療人を志す学生が習得すべき技能や能力と関連したテーマを取り上げる。様々なアクティビティを通じて、日常生活やビジネス、医療現場等で幅広く活用できる実践的な英語表現やコミュニケーションに関する知識、方法を学修することで、今後、諸外国の人々と英語でスムーズに意思疎通を図ることができるよう訓練する。

・教育成果（アウトカム）

意思伝達に関する実践的な英語表現・知識・方法等を学習することにより、グローバル社会で医療人に不可欠なコミュニケーション能力を向上させる上で必要な技能、能力を修得できる。

【学位授与方針と当該授業科目との関連】

ディプロマ・ポリシー：1, 3, 7, 9

・到達目標（SBO）

1. 様々な医療場面でのコミュニケーションに関連した語彙、英語表現を習得し運用できる。
2. 患者の訴えを正確に聞き取り、英語で適切に対応することができる。
3. DVD を視聴しネイティヴ・スピードの英語に慣れると同時に、内容を理解・発音できる。
4. 実践的な英会話を通じて、快適でスムーズなコミュニケーションの環境をつくる要素を理解できる。
5. 社会と健康、文化と健康の関連を踏まえて、健康を総合的に捉え説明できる。
6. コミュニケーション、治療的コミュニケーションについて説明できる。
7. チーム医療、保健医療福祉チーム員の機能と専門性、チーム医療の中での看護の役割について説明できる。

・授業日程

【講義】

月日	曜日	時限	講座(学科)	担当教員	授業内容/到達目標
4/30	木	2	英語分野	柳谷 千枝子 講師	<p>ガイダンス Unit 1: Greetings</p> <p>1. 患者さんとの様々な挨拶の仕方を学び、英語で実践できる。</p> <p>2. 英会話の音声を聴いて内容を把握し、説明することができる。</p> <p>3. 正しい発音で本文を音読し、内容や要点を日本語で説明できる。</p> <p>4. 医療関連の重要表現（医療従事者の名称）を学び、英語で応用できる。</p> <p>事前学修：自己学習 DVD を使用して Dialogue (p. 2-) の音声を聴き、空所に英語を書き入れておく。</p>
5/7	木	2	英語分野	柳谷 千枝子 講師	<p>Unit 2: Giving Explanations</p> <p>1. 患者さんへの説明の仕方と行動を学び、英語で実践できる。</p> <p>2. 英会話の音声を聴いて内容を把握し、説明することができる。</p> <p>3. 正しい発音で本文を音読し、内容や要点を日本語で説明できる。</p> <p>4. 医療関連の重要表現（体全体の名称）を学び、英語で応用できる。</p> <p>事前学修：Dialogue (p. 8-) の音声を聴いて、空所に英語を書き入れておく。</p>
5/8	金	3	英語分野	柳谷 千枝子 講師	<p>Unit 3: Tests (X-ray)</p> <p>1. 検査について患者さんに的確に伝える方法を学び、英語で実践できる。</p> <p>2. 英会話の音声を聴いて内容を把握し、説明することができる。</p> <p>3. 正しい発音で本文を音読し、内容や要点を日本語で説明できる。</p> <p>4. 医療関連の重要表現（頭部の名称）を学び、英語で応用できる。</p> <p>事前学修：Dialogue (p. 14-) の音声を聴いて、空所に英語を書き入れておく。</p>

5/14	木	2	英語分野	柳谷 千枝子 講師	<p>Unit 4: Inviting the Patient to Talk, and Listening</p> <ol style="list-style-type: none"> 患者さんの個人的な状況や感情を汲み取る方法を学び、英語で実践できる。 英会話の音声を聴いて内容を把握し、説明することができる。 正しい発音で本文を音読し、内容や要点を日本語で説明できる。 医療関連の重要表現（臓器の名称）を学び、英語で応用できる。 <p>事前学修：Dialogue (p. 20-) の音声を聴いて、空所に英語を書き入れておく。</p>
5/15	金	4	英語分野	柳谷 千枝子 講師	<p>Unit 5: Nursing Care and Asking Permission</p> <ol style="list-style-type: none"> 患者さんの許可を得る方法を学び、英語で実践できる。 英会話の音声を聴いて内容を把握し、説明することができる。 正しい発音で本文を音読し、内容や要点を日本語で説明できる。 医療関連の重要表現（処置に関する表現）を学び、英語で応用できる。 <p>事前学修：Dialogue (p. 26-) の音声を聴いて、空所に英語を書き入れておく。</p>
5/21	木	2	英語分野	柳谷 千枝子 講師	<p>Unit 6: Injection</p> <ol style="list-style-type: none"> 患者さんに注射を打つ際の指示表現を学び、英語で実践できる。 英会話の音声を聴いて内容を把握し、説明することができる。 正しい発音で本文を音読し、内容や要点を日本語で説明できる。 医療関連の重要表現（感染症と予防接種の名称）を学び、英語で応用できる。 <p>事前学修：Dialogue (p. 32-) の音声を聴いて、空所に英語を書き入れておく。</p>
5/28	木	2	英語分野	柳谷 千枝子 講師	<p>Unit 7: Vital Signs</p> <ol style="list-style-type: none"> 患者さんに注射を打つ際の指示表現を学び、英語で実践できる。 英会話の音声を聴いて内容を把握し、説明することができる。 正しい発音で本文を音読し、内容や要点を日本語で説明できる。 医療関連の重要表現（感染症と予防接種の名称）を学び、英語で応用できる。 <p>事前学修：Dialogue (p. 38-) の音声を聴いて、空所に英語を書き入れておく。</p>

6/4	木	2	英語分野	柳谷 千枝子 講師	<p>Unit 7: Vital Signs</p> <ol style="list-style-type: none"> 患者さんに注射を打つ際の指示表現を学び、英語で実践できる。 英会話の音声を聴いて内容を把握し、説明することができる。 正しい発音で本文を音読し、内容や要点を日本語で説明できる。 医療関連の重要表現（感染症と予防接種の名称）を学び、英語で応用できる。 <p>事前学習：感染症と予防接種(p. 36-) の英語の意味と発音をチェックしておく。</p>
6/11	木	2	英語分野	柳谷 千枝子 講師	<p>Unit 9: Operation</p> <ol style="list-style-type: none"> 患者さんへの手術前の指示や再確認する表現を学び、英語で実践できる。 英会話の音声を聴いて内容を把握し、説明することができる。 正しい発音で本文を音読し、内容や要点を日本語で説明できる。 医療関連の重要表現（様々な痛みに関する表現）を学び、英語で応用できる。 <p>事前学修：Dialogue (p. 50-) の音声を聴いて、空所に英語を書き入れておく。</p>
6/18	木	2	英語分野	柳谷 千枝子 講師	<p>Unit 9: Operation</p> <ol style="list-style-type: none"> 患者さんへの手術前の指示や再確認する表現を学び、英語で実践できる。 英会話の音声を聴いて内容を把握し、説明することができる。 正しい発音で本文を音読し、内容や要点を日本語で説明できる。 医療関連の重要表現（様々な痛みに関する表現）を学び、英語で応用できる。 <p>事前学習：p. 66 疾病と創傷(1)の英語の意味と発音をチェックしておく。</p>
6/25	木	2	英語分野	柳谷 千枝子 講師	<p>Unit 11: Medication (1)</p> <ol style="list-style-type: none"> 投薬に関する指示や患者さんへの確認の仕方を学び、英語で実践できる。 英会話の音声を聴いて内容を把握し、説明することができる。 正しい発音で本文を音読し、内容や要点を日本語で説明できる。 医療関連の重要表現を学び、英語で応用できる。 <p>事前学習：Dialogue (p. 62-) の音声を聴いて、空所に英語を書き入れておく。</p>

7/2	木	2	英語分野	柳谷 千枝子 講師	<p>Unit 11: Medication (2)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 投薬に関する指示や患者さんへの確認の仕方を学び、英語で実践できる。 2. 英会話の音声を聴いて内容を把握し、説明することができる。 3. 正しい発音で本文を音読し、内容や要点を日本語で説明できる。 4. 医療関連の重要表現（疾病と創傷1）を学び、英語で応用できる。 <p>事前学習：投薬に関する表現 (p. 65)について目を通し、英単語の意味と発音を調べておく。</p>
7/9	木	2	英語分野	柳谷 千枝子 講師	<p>Unit 15: Consultation (Cancer)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 患者さんの気持ちを尊重し相談に乗る会話の進め方を学び、英語で実践できる。 2. 英会話の音声を聴いて内容を把握し、説明することができる。 3. 正しい発音で本文を音読し、内容や要点を日本語で説明できる。 4. 医療関連の重要表現（頻用される略語）を学び、英語で応用できる。 <p>事前学修：Dialogue (p. 86-) の音声を聴いて、空所に英語を書き入れておく。</p>
7/16	木	2	英語分野	柳谷 千枝子 講師	<p>Unit 15: Consultation (Cancer)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 患者さんの気持ちを尊重し相談に乗る会話の進め方を学び、英語で実践できる。 2. 英会話の音声を聴いて内容を把握し、説明することができる。 3. 正しい発音で本文を音読し、内容や要点を日本語で説明できる。 4. 医療関連の重要表現（頻用される略語）を学び、英語で応用できる。 <p>事前学習：p. 72 疾病と創傷(2)の英語の意味と発音をチェックしておく。</p>

・教科書・参考書等

教：教科書 参：参考書 推：推薦図書

	書籍名	著者名	発行所	発行年
教	Everyday English for Nursing on DVD	Yasuko Onjohji, John Skelton	SEIBIDO (成美堂)	2016

・成績評価方法

1. 期末試験：50%
2. 確認テスト、提出課題：30%
3. 授業時の参加態度（予習状況、ペア・グループワークでの発話練習など）：20%

・特記事項・その他

【事前・事後学修の具体的内容及び時間】

学修内容の理解を深め定着を図るために、授業範囲については必ずわからない単語や表現の意味を調べ、概要を理解してから授業に臨む。併せて、自己学修DVDを活用して英語を聴く習慣をつけることで、リスニング強化につながる。なお、事前事後学修の時間は最低30分を要する。復習の際は、授業で分からなかった（間違えた）ところや、特に重要なポイントと指摘された箇所を見直し、自己学修DVDで再確認する。会話表現は音読して、単語の発音やアクセントを確認しながら復習する。

【授業における試験やレポート等の課題に対するフィードバック】

1. ユニット終了毎に確認テストを行う。
2. 確認テストを実施した場合は採点後に返却・解説する。また、提出課題については添削後コメントを付して返却する。

【その他】

1. 授業では関連トピックについてペア・グループワークで練習する機会を設ける。
2. 事後学修として、適宜、WebClassで医療英語や重要表現を復習する。

【保健師助産師看護師学校養成所指定規則教育内容】

看護師（別表3）：基礎分野 科学的思考の基盤

・授業に使用する機器・器具と使用目的

使用区分	機器・器具の名称	台数	使用目的
講義	ノート型PC（東芝）	1	資料作成、講義プレゼン用
講義	ノート型PC（富士通）FMV-NF40W	1	資料作成、講義プレゼン用
講義	ノート型PC（Panasonic）R7/U7600	1	資料作成、講義プレゼン用
講義	ノート型PC（Apple）NA877J/A	1	資料作成、講義プレゼン用
講義	ノート型PC（SONY）VGC-LN52JGB	1	資料作成、講義プレゼン用
講義	ノート型PC（NEC）PC-YV22AEDAMBL6	1	資料作成、講義プレゼン用
講義	PC（Apple）iMac27/3.20GHzCorei3	1	資料作成
講義	ノート型PC（Panasonic）CF-J9/LUDDDS	1	資料作成、講義プレゼン用

講義	iPod (Apple)	5	リスニング、課外自習等
講義	CD／DVD プレーヤー	4	リスニング、DVD 教材視聴覚用
講義	ノートパソコン (Mac Book Air CTOZOJK)	1	資料作成、講義プレゼン用
講義	HD ビデオカメラ式 (Canon・M52)	1	講義資料作成
講義	ノートパソコン (富士通・PH50/E)	1	資料作成、講義プレゼン用
講義	ノートパソコン (富士通・MH30/G)	1	資料作成、講義プレゼン用
講義	デスクトップパソコン (iMac27・ZOJN CTO Education)	1	資料作成、講義プレゼン用
講義	ノートパソコン (Panasonic・CF-J9LLUDDDS)	1	資料作成、講義プレゼン用
講義	液晶プロジェクター (SONY・VPL-EW7)	1	講義プレゼン用